

仙台ターミナルケアを考える会

第135回「生と死」のセミナー



お口（口腔）は、ただ栄養を体に取り入れるだけの器官ではありません。

味わう、笑う、話すなど生活を楽しむ上で多くの働きを果たしています。お口は死に向かうにつれて、渴きがひどくなる傾向があります。この渴きは、食事を困難にするだけでなく、会話や口元の表情等のコミュニケーションをも困難にします。

このような諸問題に対して口腔ケアの必要性が言われています。最後の時の準備に向けて、口腔ケアを通じたコミュニケーションを可能とするべく、お口や歯科についてご説明致します。

とき 平成27年7月18日(土)

13:30~15:30

ところ 仙台市医師会館・2階多目的ホール
(地下鉄・河原町駅、北口より)

※駐車場はありません、公共交通機関をご利用下さい

参加費 500円 (当会会員は無料)

「終末期の歯科ケア」

「QOL向上のため」

講師・細川 亮一(ほそかわりよついち)氏

東北大学大学院 歯学研究科 予防歯科学分野 准教授

主催：仙台ターミナルケアを考える会

事務局：〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4丁目7-2

みやぎいのちと人権 リソースセンター 2F (但し毎週水曜日 13~16時)

TEL・FAX 022-293-3275 E-mail: t-care@poem.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://st-care.sakura.ne.jp/>